

広 報

こうさ



【表紙】 第42回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会

冬の甲佐路をアスリートが駆け抜ける

CONTENTS

- 02・巻頭特集 新年あいさつ
- 07・こうさの話題 平成29年度甲佐町人権週間を開催
- 08・町からのお知らせ 2月16日（金）から申告相談が始まります
- 12・あゆみだより 「認知症サポーター養成講座」を開催
- 20・Kosa Style 弓道・甲斐憲俊さん（緑町区）

No. 582
January 2018

1

「創造的復興」を推進して、 輝く未来を紡ぐまちづくり

町民の皆様、あけましておめでとうございます。
日ごろからの町政全般に対する温かいご理解と絶大なご協力に厚くお礼申し上げます。

一昨年は、4月から発生した熊本地震および6月の記録的豪雨が、県下はもとより本町にも未曾有の被害をもたらしました。農地をはじめとする産業基盤や交通インフラ、学校などの公共施設も大きく損傷するなど、全国でも過去に例を見ない規模の震災の傷跡は大きなものとなりました。

町としては、町民の皆様が一刻も早く安全・安心に暮らす環境を復旧・復興できることを目指して、り災証明書発行や応急仮設住宅建設、家屋解体などいち早く着手し、迅速に震災関連業務を執行いたしました。復興の大きなシンボルの1

つである災害公営住宅の建設では合計52戸を計画し、今年6月に乙女団地（12戸）と白旗団地（10戸）、10月に甲佐団地（30戸）の入居を予定しております。今後も被災者の皆様の生活再建を優先課題と捉えて、総力を挙げて迅速かつ強力に震災対策を講じていくことといたします。

これらの震災対策については、私が政策目標として「町長マニフェスト」で掲げた「再生から創生へ・次世代へ残す輝く郷づくり」を正に基本とし、単なる復旧にはとどまらず、将来を見据えて更なる本町の発展を目指した「創造的復興」を同時に講じていくことが重要と考えております。本町の早期復旧・復興を加速化するために、まちづくりの基本である「第6次町総合計画」をはじめ、一昨年に県内に先駆けて策定した「町震災復興計画」など各計画を町民の皆様と共有し、

協働によるまちづくりを推進して参ります。

今後も、町民と行政が震災などでの苦難を共に乗り越え培われてきた絆と、町外の多くの方から頂いた支援に感謝しつつ、創生を見据えた復興により「甲佐町に住んで良かった」と誇りと愛着を持つて心から口にしていただけるまちづくりに向かって、町民の皆様から寄せられた



甲佐町長 奥名 克美

大きな期待に応えるためにも町職員と一丸となり、共に汗を流して、強い信念と情熱で真摯に実現して参ります。

終わりに、町民の皆様、また議会の皆様には、本年も変わらぬご指導とご支援の程をよろしくお願い申し上げますとともに、町民の皆様にとりまして輝かしい1年となることを祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

一日も早い 復興を目指して

甲佐町議会議長
緒方 哲哉



町民の皆様、明けましておめでとうございます。
平成30年の節目の年を迎え、甲佐町議会を代表し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
皆様方には、新たな期待と希望をもって、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
平成28年の熊本地震また豪雨災害で、多くの方が被災されたことにより、昨年は、家屋等の復旧作業や生活再建のために大変なご苦労をされたかと思えます。今後も厳しい状況が続くと思えますが、皆様の生活の安定と地域の復興を目指し、議会も取り組んで参りますので、ご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。
奥名町政の3期目のマニフェストが示されている中、基幹産業である農業は長

引く景気低迷、後継者問題によって極めて厳しく、商工業も危機的状況にあると思っております。この状況からの脱却により良い方策を見出していかなければなりません。

農業を中心とした産業の振興や緑川を活かした環境政策、子育て世代に優しい政策、教育政策の充実による甲佐の魅力を活かした定住政策などの取り組みを推進し進める必要があると考えております。
町民の皆様の声に耳を傾け、まずは、一日も早い復旧・復興を目指し、また、皆様の代表であることを強く自覚し、日々研さんに努め、開かれた議会づくりを目指していきたいと思っております。
今後とも、ご指導とご支援をよろしくお願いいたします。
町民の皆様にとりまして、更なる実り多き年でありますことを祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

「学校・家庭・地域の 協働」による教育と 地域づくり

甲佐町教育長
蔵田 勇治

会と、その先にある「子どもたちが成人して活躍する未来」予測があります。改訂の主な内容としては理数教育、道徳教育、外国語教育の充実などが挙げられ、今後、道徳の教科「特別の教科 道徳」、小学校からの外国語科（教科「英語」）の学習が始まります。本町ではこれらの課題に先進的に取り組み、「学力県下トップ構想」「文教の町、甲佐」の実現に取り組んでまいります。そのためには「学校・家庭・地域」の協働が必須であり大きな力になります。また、地域の皆さまの学校教育への協働参画は、家庭・地域の教育力向上や地域の活力づくりにも繋がるものです。どうか、町民の皆様への深いご理解とご支援、協働への参画をお願いいたします。
年頭にあたり、本町の教育の更なる充実への新たな決意を述べさせていただきますと共に、今年が皆様にとって幸多き年になりますことを祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

明けまして、おめでとうございます。
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、日頃から本町教育行政に暖かいご理解とご支援、ご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

熊本地震・豪雨災害から二度目の新春を迎えました。町教育委員会では「町震災復興計画」に基づき教育環境、教育活動の復旧・復興と共に、震災以前より「より良い」教育環境、教育活動創りに町民の皆様と共に取り組んでいくところ

です。
昨年3月、小・中学校の学習指導要領が改訂・告示されました。今回の改訂の根底には、経済や文化のグローバル化、少子高齢化など、急激に変化する現代社



一般の部は設楽、国際の部はカレミズクに栄冠

12月3日(日)、第42回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会が開催されました。町、熊本陸上競技協会、熊本日日新聞社、熊本バス株式会社主催。町役場前を発着点とする日本陸連公認コースで実施。5部門に549競技者がエントリーして、熱戦を繰り広げました。10マイルの部スタート時の天候は曇り、気温13.5度、北北西の風0.3m/s。

10マイル一般競技者の部は残り3kmで先頭集団から抜け出した設楽悠太(Honda)が、日本歴代4位となる好記録で見事優勝。国際競技者の部は、カレミズク(トヨタ自動車九州)が4連覇を達成し、本大会の連覇記録を塗り替えました。高校男子10[☆]の部は井川龍人(九州学院)、中学男子5[☆]の部は鶴川正也(託麻)、女子5[☆]の部は福田妃加里(肥後銀行)が優勝しました。

新人賞は一般の部3位の大六野秀敏(旭化成)が受賞し、敢闘賞は同優勝の設楽と高校男子の部優勝の井川が獲得。女子敢闘賞は中学1位の溝上

加菜(緑東)以下6位までが受賞。本町出身者が対象の地元競技者賞は、高校男子の部の早崎泰晟(熊本工・早川区)と岡崎亮(開新・下横田区)が選ばれました。

◆ 大会結果

- ◆ 10マイル一般競技者の部
 - 1 設楽悠太(Honda) 45分58秒
 - 2 井上大仁(MHP S) 46分12秒
 - 3 大六野秀敏(旭化成) 46分21秒
 - 出場者 131人
- ◆ 10マイル国際競技者の部
 - 1 カレミズク(トヨタ自動車九州) 46分10秒
 - 2 アツバイン・デグ(安川電機) 46分15秒
 - 3 ジェームス・ムワンギ(NTN) 47分00秒
 - 出場者 7人
- ◆ 高校男子10[☆]の部
 - 1 井川龍人(九州学院) 29分45秒
 - 2 倉岡輝(熊本工) 30分02秒
 - 3 佐藤映斗(九州学院) 30分05秒
 - 出場者 113人
- ◆ 中学男子5[☆]の部
 - 1 鶴川正也(託麻) 15分21秒
 - 2 木實優斗(西合志) 15分46秒
 - 3 山瀬大孝(玉南) 16分00秒
 - 出場者 73人
- ◆ 女子5[☆]の部
 - 1 福田妃加里(肥後銀行) 16分31秒
 - 2 坂元えり(同) 16分34秒
 - 3 徳田優里海(出水中央高) 16分42秒
 - 出場者 74人



駆けぬける風

第42回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会

12月3日(日) 町役場発着・日本陸連公認コース

◆写真右・熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会のスタート直後。10マイル一般競技者の部と国際競技者の部は同時スタート
◆写真左上・2[☆]地点での女子5[☆]の部
◆写真左中・高校男子10[☆]の部の2[☆]地点
◆写真左下・各部門の優勝者(前列左から中学、高校、一般、国際、女子)と各賞受賞者(後列左から新人賞、地元競技者賞(2人)、女子敢闘賞)

上早川産そばに舌鼓

上早川北部資源保全会で「そば祭り」

11月26日（日）龍野福祉ふれあいセンターで、「そば祭り」が開催されました。

同祭りは、耕作放棄地の解消と地域住民の交流を図ることを目的として地域住民で結成された上早川北部資源保全会（田上晴二代表）が主催し、2年ぶりに開催。同会では、遊休農地を活用してソバの植え付けから収穫までを取り組んでいます。

当日は、地域住民など約80人が出来立てのそばを味わい、参加者は「毎日食べたいほど美味しい」と話しました。



▲出来立てのそばに舌鼓を打つ地域住民たち

人権について考えよう

平成29年度甲佐町「人権週間」



▲12月9日（土）第35回甲佐町「人権週間」町民集会后、市街地をパレードして人権意識を高める参加者の皆さん



▲放水訓練を行う下豊内区の防災訓練参加者

町全体で災害に備える

12月17日（日）町総合防災訓練を実施

12月17日（日）、町総合防災訓練が行われました。同訓練は、熊本地震での対応を教訓に大規模災害に備えるため、町が初開催。2033人が参加しました。

町内全域での豪雨と大地震を想定し、発災後直ちに町災害対策本部を設置。避難勧告を発令し、指定避難所を開設するなど、模擬訓練を実施しました。町職員は非常呼集による震災対応に当たるとともに、避難所運営の研修を受講しました。

また、各区の自主防災組織では、地元消防団員や住民が避難誘導や消火訓練、炊き出しなどに取り組みました。

12月4日（月）～10日（日）、平成29年度甲佐町「人権週間」が実施されました。

同週間は、甲佐町人権週間実行委員会（沼田峰子会長）、町、町教育委員会が主催。同和問題などのあらゆる人権問題の解決や基本的人権の尊重、町民の人権意識の普及と高揚を目的に、毎年実施しています。

期間中は、特設人権（法律）相談の開設、街頭や企業訪問による人権啓発広報活動の実施、書道など人権作品の展示などを実施しました。

同週間のメイン行事として、12月9日（土）町生涯学習センターで、第35回甲佐町「人権週間」町民集会を開催。約180人が参加し、町内の児童・生徒による人権作文や体験活動の発表などがありました。

人権講演会では、講師の松川由美さん（モバイル・ネットワーク研究所代表）が「ネット社会に潜む人権問題」という演題で、ネット社会で起きているさまざまな問題について講演。集会后には街頭パレードも行って、人権意識を高めました。

▼左から空手の霍本選手、陸上競技・駅伝の飯田競技者と戸高競技者



校空手選抜大会・南・北九州ブロック予選と全九州新人大会に、霍本萌選手（上豊内区・九州学院高2年）が個人組手・団体組手に出場しました。同高は全九州大会の団体組手で3位となり、3月に香川県で行われる全国高校空手選抜大会に出場します。霍本選手は、「優勝目指してがんばります」と意気込んでいます。

地形と地震について学ぶ

第11回『新甲佐町史』歴史研修会を開催

11月26日（日）町生涯学習センターで、第11回『新甲佐町史』歴史研修会が開催されました。

同研修会は、平成25年3月刊行の『新甲佐町史』を用いて、本町の今と昔を考え成り立ちを追うことを目的に、町教育委員会が主催。

今回は、「甲佐町における熊本地震の影響」という演題で、講師の阿蘇火山博物館長の池辺伸一郎さんが講演。町民の地震への関心は高く、今年度最高の64人が来場し本町の地形と熊本地震について学びました。



▲池辺阿蘇火山博物館長の講演に熱心に耳を傾ける受講者

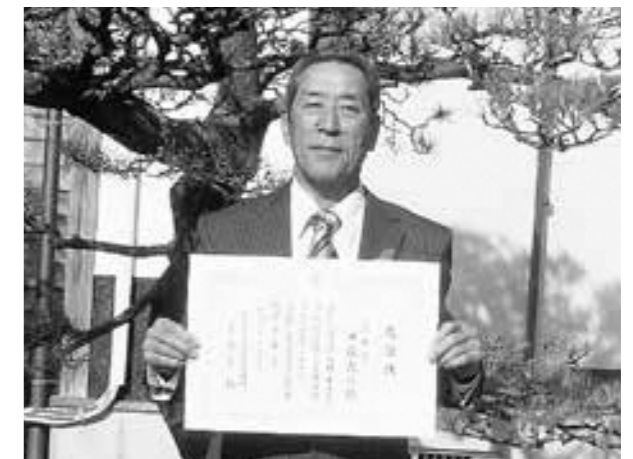
九州大会に出場

町内の高校生3選手が活躍

11月に開催された九州大会に、町内から3選手が出場して、活躍しました。

11月18日（土）沖縄県で行われた全九州高校駅伝に、戸高栄央亜競技者（有安区・熊本工高3年）と飯田怜競技者（仁田子区・ルーテル学院高3年）が出場しました。戸高競技者は2区を、飯田競技者は4区を力走。飯田競技者が主将を務める同高は、12月24日（日）に京都府で開催された全国高等学校駅伝競走大会にも出場しました。

11月25日（土）・26日（日）に大分県で開催された全国高校空手選抜大会・南・北九州ブロック予選と全九州新人大会に、霍本萌選手（上豊内区・九州学院高2年）が個人組手・団体組手に出場しました。同高は全九州大会の団体組手で3位となり、3月に香川県で行われる全国高校空手選抜大会に出場します。霍本選手は、「優勝目指してがんばります」と意気込んでいます。



▲緑の少年団の育成で表彰された井藤さん

緑の少年団の育成功労賞

井藤直行さん（上早川三区）が受賞

11月18日（土）、香川県高松市で開催された「全国緑の少年団活動発表大会」において、井藤直行さん（上早川三区）が「平成29年度緑の少年団育成功労賞」の表彰を受けました。

同表彰は、緑の少年団の育成に著しく貢献された団体または個人を、（公社）国土緑化推進機構が表彰するもので、本年度は全国から8人が表彰。

井藤さんは、平成23年に設立された「龍野小学校緑の少年団」の活動に所有山林を野外活動の場として無償で開放しているほか、野外活動の講師を務めるなどさまざまな活動が高く評価され同賞の受賞となりました。

国民健康保険

平成30年度から国保は県と町が共同で運営します



国保イメージキャラクターの川崎剛則さん

国保運営の中心的役割を平成30年4月から県が担います

国民健康保険は現在、市町村それぞれが保険者となつて運営していますが、平成30年度からは制度が改正となり、都道府県と市町村が共同保険者となつて運営することになります。

平成30年4月から国保運営は県と町と共同で行いますが、被保険者の皆さんの資格や給付などの各種手続きの受け付けは、今までと同様に町住民生活課で行います。

都道府県単位で被保険者としての資格を管理します

今回の制度改正によって、都道府県単位で被保険者としての資格を管理することになります。

これにより、県内のほかの市町村へ転居した場合でも資格は継続します（資格は継続しますが、被保険者証は転居後の市町村内で改めて発行します）。

高額療養の自己負担限度額を引き下げられる制度について

これまでは、過去12か月以内に高額療養費の支給が4回以上ある場合に自己負担限度額が引き下げられる制度（多数回該当）について、町外に転居すると保険者が変更となるため、回数も転居後から計算し直していました。

改正後は、県内のほかの市町村への転居であれば資格は継続しているため、転居前の支給も通算して多数回該当の回数に含めることとなります。

国保財政の健全化のために、皆さんのご協力をお願いします

財政運営の仕組みは大きく変わりますが、被保険者の皆さんの医療の受け方は変わりません。国保税も、これまでどおり町へ納めていただきます。

国保財政の健全化および事業効率化を目指すために、皆さんのご協力とご理解をお願いします。

国民年金

新成人の皆さんへ20歳から国民年金



詳しくは町住民生活課にお問い合わせください

国民年金はみんなの支え合いの制度です

国民年金は、年をとったときやいざというときの生活を、現役世代のみんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

具体的には、20歳から60歳までの人が加入し、国民年金保険料を納め続けることで、年をとったときや病气やけがで障がいが残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができきる制度です。

国が責任をもつて運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

国民年金の給付は3種類

国民年金には、65歳以降、生涯

申告相談

平成30年2月16日（金）から税の申告相談が始まります

町では、平成30年2月16日（金）から町・県民税、国民健康保険税の申告相談を行います。申告期間の終盤は大変混雑しますので、早めの準備をお願いします。

準備するもの

- 収入額を確認できるもの
給与収入や年金収入のある人は源泉徴収票または支払調書をご準備ください。事業所得のある人は、収支内訳書の提出が必要です。
・所得控除額を確認できるもの

申告期間

2月16日（金）～3月15日（木）

※詳しい日程は、後日お知らせします。

会場

町生涯学習センター研修室

雑損控除を受ける方へ

雑損控除を受ける人は、昨年に引き続き、2月1日（木）から火の国ハイツ（熊本市東区）で、計

算書作成および確定申告ができません。平成28年分確定申告書（控）と雑損控除計算書（控）を必ずご準備ください。計算書の作成が必要な人は、り災証明書などの必要書類をご確認いただき、ご利用ください。
不明な点は、熊本東税務署または町税務課にご相談ください。

税務署開設の申告相談会は、火の国ハイツで開催されます

震災により被害を受けられた方の申告相談期間

2月1日（木）～2月15日（木）

※土・日曜日を除きます

通常の確定申告相談期間

2月16日（金）～3月15日（木）

※2月18日（日）、25日（日）に限り、休日も開設されます。

受付時間

午前9時～午後4時

申告相談会場

火の国ハイツ

（熊本市東区石原2丁目2-28）

※熊本東税務署での申告相談は実施されませんので、ご注意ください。

税務署申告相談のお問い合わせ先

熊本東税務署
096-369-5566

男女共同参画

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けて

仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に、家事・育児などの生活も暮らしに欠かすことができないものであり、その充実があってこそ、人生の生きがい、喜びは倍増します。しかしながら、現実の社会には、安定した仕事に就けず、経済的に自立することができなかつたり、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩んだりするなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多くみられます。これらが、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまで繋がっているといえます。それを解決する取り組みが、仕事と生活の調和（ワーク・

ライフ・バランス）の実現です。総務省「社会生活基本調査」によると、6歳未満児のいる世帯について、1日の家事・育児関連時間をみると、夫は1時間7分である一方、妻は7時間41分となっており、家事関連時間の男性負担は依然低く、妻が大部分を担っています。また、欧米諸国の夫の家事関連時間をみると、アメリカ、ドイツ、スウェーデンなどは3時間以上となっており、日本は国際比較でもかなり短くなっています。

豊かに暮らせる社会へ向けて

女性の社会進出が進んでおり、専業主婦家庭よりも共働き家庭が多くなっている今、女性だけでなく男性も含めた「働き方の見直し」が必要ではないでしょうか。

「仕事と生活の調和」の取り組みは、「やりがいなどをもちながら、仕事上の責任を果たす」ことを前提としたものであり、決して働くことの意義を否定するものではありません。私たち一人ひとりが「しっかりと働き、豊かに暮らせる社会」に向けて行動することは、豊かな生活を実現するためにも、社会環境を改善するためにも、日本の将来のためにも重要です。

仕事と生活の調和の実現に向けて



男性も含めた働き方の見直しを

町住民生活課 096-234-1113 (内線104)

町住民生活課 096-234-1113 (内線106)

町総務課 096-234-1140 (内線223)

町税務課 096-234-1112 (内線115)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶ 公民館主催講座のご案内
「子どもの講座」参加者を募集します

● 日時
1月24日(水)
午後3時30分～午後5時

● 場所
白旗ふれあいセンター
げんきクラブ

● 講座内容
・電気にまつわる注意点や役に立つお話
・工作(石けんのデコパージュ、マグネットピン作り)

● 講師
宮崎 加代子さん
(九州電力ホームアドバイザー)

● 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

史と現状について展示室を案内してもらいました。大企業「チッソ」によって同市の発展があったため、



▲館長の説明に熱心に耳を傾ける参加者たち

の「ポハイケアロハ・フラミナミ」のメンバー7人のフラダンスを披露。メン

モアたっぷりの劇に笑いと拍手で楽しみました。

12月8日(金)和田内公民館で、フラダンス観賞会を開催しました。

公民館出前講座 フラダンス観賞会

観賞した参加者からは歓声が上がりました。会場内は温かい雰囲気になりました。



▲満面の笑顔でのフラダンスを楽しむ参加者

町民大学 水俣病に学ぶ

11月28日(火)「町民大学」で、水俣市の水俣病資料館の見学に行きました。参加者は50人。湯の児の「スペイン村」で昼食を楽しんだ後、水俣病資料館へ移動。館長から水俣病の歴史

両方の関係性からなかなか止められなかった排水による被害の拡大、「みなまた」という土地や住人への偏見や差別。起きたことに学びまたこの場所で生きるため、市民が一丸となって環境の復元に取りくむ姿勢などを学びました。

パーの皆さんは南国をイメージする色鮮やかなドレスに身を包み、音楽に合わせて笑顔で踊られました。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

● 人権に関するDVDのご紹介

甲佐町人権教育推進協議会では、人権について理解を深めていただくために、人権啓発に関するDVDの貸し出しを行っています。各地区・企業・個人などで、ぜひご覧ください。

「そんなの気にしないー同和問題ー」(17分)

この作品は2人の友だち同士が主人公です。タイトルの「気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白したときに返ってきた言葉です。「気にしない」と

いう言葉の底には、そのことをマイナスに見る意識があるのかもしれない。私たちが普段なにげなく使う言葉や態度のなかには、相手を傷つけるものがあるかもしれない。視聴者それぞれが明日の自分のために一歩ふみだせるよう工夫された作品です。

「むしむし村の仲間たち～みんないいところなんだよ～」(13分)

誰でも苦手なこともあれば得意なこともあります。大切なのはお互いの違いを認め、相手の気持ちを思いやり助け合っていくことです。子ど

もたちが楽しく学べるアニメです。貸し出しについては、甲佐町人権教育推進協議会(町社会教育課内)にお問い合わせください。



▲地区や企業などでの人権教育勉強会にぜひご活用ください

● 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)

Library

町生涯学習センター図書室からの1月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■ 0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第3木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、わらべうたなど楽しい内容です。

子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽に参加ください。

日時 1月18日(木)
午前10時30分
場所 図書室おはなしのへや

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

2018年NHK大河ドラマ原作小説

林 真理子著 / 『西郷どん!』



KADOKAWA
小説

下級武士の家に生まれ、貧しいながら家族や友に恵まれて育ち、やがて大きな歴史のうねりにもまれながら、数奇な人生を生き抜いた西郷隆盛。激動の幕末を駆け抜け新たな時代を作った、誰もが知っている偉人の、これまであまり語られてこなかった3人の妻との暮らしも描かれています。林真理子が描く西郷どん、読み応えのある1冊です。

子どもの心の成長を描いた絵本

くすのきしげり作 / 『ええたまいっしょう!』



岩崎書店
児童書

泥だらけのボールを持った男の子。先生に怒られてむしゃくしゃしてだけれど、お父さんが教えてくれたことを思い出して、ボールを交番に届けた。するとおまわりさんは…。信頼できる大人に出会った子どもの、心の成長を描いた絵本。「～のような人になりたい」と、子どもが憧れる大人の姿とは…。大人にもおすすめの1冊です。

地球の現実にまだ目を背けますか?

アル・ゴア著 / 『不都合な真実2』



実業之日本社
一般書

2007年出版の「不都合な真実」から10年。アメリカの元副大統領アル・ゴア氏が、地球の瀕死(ひんし)の症例を紹介し、気候の危機への解決策を提示する。実際に、ゲリラ豪雨などの異常気象が世界規模で甚だしい被害をもたらしている今、地球の未来のために「何ができるのか、何をすべきなのか」を、深く考えさせられる1冊です。

料理の基本はやっぱり「だし」です!

服部栄養専門学校監修 / 『服部幸徳の知っておいしいだし事典』



実業之日本社
教養娯楽

日本料理を中心に、西洋料理や中国料理などのだしのとり方や、だしを使った料理を紹介。また、だしの素材の種類や選び方、保存方法、栄養など基本的な知識も分かりやすく解説しています。しっかりだしをとると、料理の幅がぐっと広がります。日々の食生活が豊かになります。だしの基本を基礎からきちんと学べる1冊です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■ 開館時間 午前9時～午後5時 ■ 休館日 毎週火曜日、年末年始 ■ 貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

私は、日頃「相手の期待を越える」ということを大切に考えています。ここでは、そんな内容が含まれている本を紹介いたします。

その本の題名は「最後のパレード」、副題は「ディズニーランドで本当にあった心温まる話」と付いています。筆者は、中村克氏で、この方は、オリエンタルランド(東京ディズニーランドの経営会社)の元スーパーバイザーだそうです。

同書の前書きには、「東京ディズニーランド

今月の案内人



福田 雅也さん
(甲佐小学校長)

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『最後のパレード』(中村 克著)
ディズニーランドで本当にあった心温まる33の物語。

のキャスト(従業員)だけが知っている秘密のストーリー」であり、「実際に起こった心温まる話」が集めてある、と記されています。

本の中には「天国のお子様ランチ」との題で亡くなった娘さんへの心温まるサービスの話などが書かれています。その話には中村氏の次のような文章が加えられていました。「マニュアルによれば、このような行為は

規則違反でしょう。でも、ディズニーランドにおいては賞賛されます。マニュアルは基本であり、基本を超えたところに感動が潜んでいると理解しているからです。」

この他にも、心温まる実話が短編でまとめられています。私のおすすめの本です。どうぞ、読んでみてください。



THIS IS MY FAVORITE STORY! PLEASE READ IT! THIS IS MY FAVORITE STORY! PLEASE READ IT!

Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



ことは
外村 琴羽 ちゃん (1歳)

父・有也 さん 母・岬 さん
(浅井区)

これからも笑顔、元気
いっぱい育ててね



たくま
田上 拓磨 くん (11か月)

父・大樹 さん 母・智紅子 さん
(有安区)

お姉ちゃん
いっぱい遊んでね♥

★お子さんの成長の記念として、“笑顔”の写真を『広報こうさ』紙面に飾ってみませんか？写真掲載のお申し込みは、町総合保健福祉センターまで。

●お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先
町総合保健福祉センター
☎096-235-8711

Child-Care

1月の子育て支援カレンダー

<p>○ 甲佐保育園 ☎096-234-0186</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>	<p>○ 甲佐町子育て支援センター (竜野保育園内) ☎096-234-0305</p> <p>5日(金) 七草を探しに行こう</p> <p>10日(火) 製作(福笑い)</p> <p>12日(金) 折り紙遊び</p> <p>15日(月) けん玉作り</p> <p>17日(水) 園内散歩</p> <p>19日(金) お誕生会(要予約)</p> <p>22日(月) 親子で読書</p> <p>24日(水) おやつ作り</p> <p>26日(金) 砂場遊び</p> <p>29日(月) 鬼のお面作り</p> <p>31日(水) お絵かき</p>
<p>○ 若草保育園 ☎096-234-0013</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>	<p>育児相談(電話・面接) 月～金曜日 午前9時30分～午後4時</p>
<p>○ 竜野保育園 ☎096-234-0519</p> <p>19日(金) 誕生会</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>	<p>体験保育 月・水・金曜日 午前9時30分～正午</p>
<p>○ 乙女保育園 ☎096-234-3947</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>	
<p>○ 緑川保育所 ☎096-234-0789</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>	

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。

Health

町総合保健福祉センターからのお知らせ

小・中学生が学ぶ 認知症サポーター養成講座

◆認知症の方を支える基盤の
必要性が高まる

高齢者人口の増加に伴い認知症対策が急務となっており、対策の方向性を指し示す国の「新オレンジプラン(正式名称・認知症施策推進総合戦略)」が策定されています。認知症の方が2025年に約700万人に上ることから、社会全体で認知症の方を支える基盤をつくるために、認知症の基礎知識を身に付け、対応することのできる「認知症サポーター」の育成を進めることも打ち出されています。

町も認知症高齢者にやさしい地域をつくるために、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

あゆみだより 介護の話

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診査などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
福田 久美子 保健師

町では、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」の養成講座を開催しています。支え合いの輪を広げるために、皆さんもぜひ参加してみませんか。

「認知症サポーター養成講座」を開催しています。今年度は、新しい試みとして、甲佐中学校と乙女小まつやま塾で「養成講座」を開催しましたので、その実施内容についてご紹介します。

◆甲佐中学校「認知症サポーター養成講座」

11月6日(月) 甲佐中学校3年生76人を対象に、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。(有)せせらぎ代表・高橋恵子氏を講師としてお招きし、認知症にはさまざまな種類の症状があることや認知症サポーターの役割についてご講話いただきました。講話内容を基に認知症についての10問ク

イズを出題し、生徒の皆さんがグループごとに回答を行い、講話の学びの確認を行いました。また、生徒の皆さんにアンケート回答もしていただきました。認知症についてよく分かった、学んだことを生かしたいという意見をいただき、とてもうれしかったです。

◆乙女小まつやま塾「認知症サポーター養成講座」

11月17日(金) 乙女小まつやま塾の児童53人を対象に、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。(有)せせらぎ代表・高橋恵子氏と崎山良好さん(下田口区)を講師としてお招きし、認知症に関する説明と認知症の方を介護しているご家族からのメッセージについてお話しいただきました。崎山さんから、介護しているご

家族の生活や認知症の症状を具体的に話をしていたいただきました。「孫の顔を見るととても喜んでいたので、皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんのところに行つてお顔を見せてあげてくださいね」と、メッセージをお伝えいただき、児童の皆さんは真剣にお話を聞いていました。その後、町地域包括支援センターから認知症になった祖母を孫の男の子の視点で描いた絵本『ばあばは、だいじょうぶ』(童心社、作・楠童子氏、絵・いしいつとむ氏)の読み聞かせを行いました。

その後、高橋恵子氏から認知症についてご講話いただいて、「認知症になっても、きれいなものはきれいと分かるよ、子どもたちの笑顔は大好きだよ」と、心は生きていることをしっかりと児童の皆さんにお伝えいただきました。児童の皆さんがグループワークで「今回学んだこと」「自分たちができること」について、それぞれの思いを書いてくれました。出来上がったグループワークシートは、絵を描いてとてもかわいい仕上がりとになりました。とてもいい意見がありましたので、乙女小校内に展示していただいています。

●健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先
・町総合保健福祉センター
・町地域包括支援センター (町総合保健福祉センター内)
☎096-235-8711



お知らせ

児童手当の申請は忘れずに手続きを

児童手当は、中学校卒業（15歳の誕生日後の最初の3月31日）までの児童を養育している人に支給されます。出生日や転入した日（異動日）が月末に近い場合、申請日が翌月になっても、異動日の翌月から15日以内であれば申請月分から支給します。

- 申請が遅れると、原則として遅れた月分の手当を受けられなくなりしますので、ご注意ください。
- 支給月額
 - 0〜3歳未満 15,000円
 - 3歳〜小学校終了前の第1子、第2子 10,000円
 - 3歳〜小学校終了前の第3子 10,000円

子以降 15,000円
中学生 10,000円
支給時期 原則として、毎年6月、10月、2月にそれぞれの前月分まで手当を支給します。

申請に必要なもの

- 印かん
- 受給者および対象児童の健康保険証
- 受給者名義の預金通帳
- 受給者のマイナンバー通知カード

申請されたその年の1月1日にほかの市町村に住所を有した場合、受給者および配偶者の所得・課税証明書（所得・控除額・住民税額などが記載されているもの）申請・お問い合わせ先 町福祉課 ☎096・234・1114（内線145）

「すまいの再建」支援事業の申請受付を開始

町では、平成28年熊本地震により被災し、県内に住まいを再建される世帯を対象に、「すまいの再建」に係る4つの支援事業の申請受付を行っています。

- ① 転居費用助成事業 仮設住宅や仮住まいの居宅から恒久的な住まいへ引越す際の負担を軽減するため、転居費用を助成します。
- 助成額 1世帯あたり一律10万円 ※1つの世帯が複数の再建先に転居した場合は、いずれか1つの世帯での申請となります。
- ② 民間賃貸住宅入居費用助成事業 ※同居する複数の世帯が1つの再建先に転居した場合は、いずれか1つの世帯での申請となります。

民間の賃貸住宅への入居に必要な仲介手数料や保証金などの初期費用を助成します。なお、借上型仮設住宅にお住まいの方で、仮設住宅としての入居期間満了後も引き続きその物件にお住まいになる場合も対象になります。

- 助成額 1世帯あたり一律20万円 ※1つの世帯が複数の賃貸住宅に入居した場合は、いずれか1つの世帯での申請となります。
- ③ リバースモーゲージ利子助成事業 自宅の再建のため、金融機関などからリバースモーゲージ型の融資を受けた場合、850万円までの借入金に対し利子の全部または一部を助

古きを訪ねて甲佐町を知る

甲佐町の文化財探訪 ～第52回～

「山出の板碑」 石坂妙 町文化財保護委員（吉田区）

甲佐町には、現在でも多くの石造物が残っています。今回は、その中の1つである「板碑（いたび）」について述べてみようと思います。

板碑は戦国時代に建立された石碑です。現在と違い、戦国時代の人々は主君に仕えて、戦に赴く機会が多くありました。その中で、戦場で命を落とすことが当たり前でした。そこで、生前に自分の死後の冥福を祈って、仏事供養を行い、供養塔である板碑を建立しました。供養塔建立の風習は、意外と古く、仏教伝来とも深く関わっていたものと思います。

「山出の板碑」は、現在、大武神社の鳥居の傍らにあります。元々は別の場所にありましたが、後の時代に現在の場所に移設されました。この板碑には、建立され

た年月日（1550年（天文19）年四月十一日）や建立者、阿弥陀如来と釈迦如来を表す梵字（ぼんじ）が刻まれています。しかし、現在では摩耗や酸性雨の影響もあって、判読は難しくなっています。

町内にはこの山出の板碑を含めて、判明しているだけで10カ所の板碑が確認されています。

皆さんの地区にも、まだまだ板碑があるかもしれません。板碑を見つけた際にはぜひ、町教育委員会へお知らせください。



▶大武神社の傍らにある山出の板碑

お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447（内線322）

成します。60歳以上で融資を受けた方が対象となります。※日本財団がまち基金「平成29年度被災住宅再建資金助成事業」との併用はできません。

④ 自宅再建利子助成事業 自宅の再建のため、金融機関などから住宅ローンの融資を受けた場合、850万円までの借入金に対し利子の全部または一部を助成しますが、以下の収入要件があります。

● 収入要件 世帯年収（世帯員の合計）が500万円以下（前年の課税所得証明書の合計） ※給与収入以外の収入がある場合は、世帯全員の年間所得350万円以下

次のいずれかの要件に該当する世帯を対象とします。

- ・ 応急仮設住宅（建設型仮設住宅、借上型仮設住宅）の入居世帯
- ・ 全壊または大規模半壊のり災証明書の交付世帯
- ・ 半壊のり災証明書の交付世帯でその住宅を解体した世帯

fire prevention 出動火災件数

種別	発生件数	
	11月	前年比較
家屋	2	(1)
原野	0	(0)
その他	4	(4)
合計件数	6	(5)

12月15日現在（カッコ内は前年比較）

traffic safety 事件・事故件数

種別	発生件数	
	11月	年累計
人身事故	0	24
物損事故	19	209
盗難など	1	14

11月30日現在

environmental preservation クリーンセンターへのごみ搬入量（11月分）

種別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	206,970	△43,450	△55,410
資源ごみ	26,090	7,400	△9,060
粗大ごみ	7,380	3,480	△1,250
合計	240,440	△32,570	△65,720

※単位：kg

tax 町税などの滞納処分（11月分）

種別	件数・金額など
捜索	2件
差し押さえ件数	38件
交付要求	0件
取立・公売代金	2,692,898円

doctor 日曜当番医

月日	当番医	電話番号
1月1日	荒瀬病院	☎096-234-1161
1月2日	谷田病院	☎096-234-1248
1月3日	小屋迫医院	☎096-234-0165
1月7日	荒瀬病院	☎096-234-1161
1月14日	谷田病院	☎096-234-1248
1月21日	甲佐眼科クリニック	☎096-235-5600
1月28日	荒瀬病院	☎096-234-1161

お問い合わせ先一覧

- 町役場 ☎096-234-1111（代表）
- 町教育委員会（町生涯学習センター） ☎096-234-2447（代表）
- 町総合保健福祉センター ☎096-235-8711
- 町水道管理センター ☎096-234-0755
- 町民センター ☎096-234-2459
- 町学校給食センター ☎096-234-0255
- 町老人憩いの家（社）甲佐町社会福祉協議会 ☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合（クリーンセンター） ☎096-282-0688
- 上益城消防署 ☎096-282-1955
- 御船警察署 ☎096-282-1110
- 上益城広域連合 ☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局 ☎096-282-2111（代表）
- 県御船保健所 ☎096-282-0016
- 県庁 ☎096-383-1111（代表）

町からのお知らせについては、詳しくは町公式サイトをご覧ください。 URL <http://www.town.kosa/kumamoto.jp/>

ご支援ありがとうございました

ふるさと甲佐 応援寄附金



「梅酒カステラ」こうさんもん No. 14
ほんのり香る梅酒と刻んだ梅の食感を楽しむ
▶ばん工房ふうさん ☎096-234-2112

▶ご寄付いただいた皆様

- | お名前 | ご住所 |
|---------|------|
| ・山本 静香様 | 滋賀県 |
| ・藤本 昌宏様 | 千葉県 |
| ・鶴田 健瑠様 | 東京都 |
| ・吉田 昇平様 | 大阪府 |
| ・村井 雅明様 | 大阪府 |
| ・村田 憲一様 | 山梨県 |
| ・植田 代三様 | 福岡県 |
| ・海老原俊司様 | 神奈川県 |
| ・黒田 章徳様 | 京都府 |
| ・古川 治幸様 | 愛知県 |
| ・松本 岳洋様 | 三重県 |
| ・上村 晶一様 | 大阪府 |
| ・清澤 健太様 | 茨城県 |
| ・鈴木 雅史様 | 神奈川県 |
| ・大西 康代様 | 滋賀県 |
| ・池田 庸一様 | 神奈川県 |
| ・長野 滋様 | 神奈川県 |
| ・松嶋地恵子様 | 埼玉県 |
| ・細谷 亮太様 | 茨城県 |
| ・大平 智行様 | 広島県 |
| ・佐藤 秀和様 | 埼玉県 |
| ・衣笠 傑様 | 兵庫県 |
| ・小川 学様 | 東京都 |
| ・野島 博様 | 神奈川県 |
| ・早川 智陸様 | 愛知県 |
| ・石坂 薫様 | 神奈川県 |
| ・菊池 京子様 | 兵庫県 |
| ・後藤 禎孝様 | 福岡県 |
| ・内藤 吉和様 | 鹿児島県 |
| ・斧澤みどり様 | 静岡県 |
| ・遠田 泰平様 | 神奈川県 |
| ・今居 都様 | 和歌山県 |
| ・栗川今日子様 | 大阪府 |
| ・西川 光雄様 | 奈良県 |
| ・水長 晋一様 | 広島県 |
| ・田端 健二様 | 埼玉県 |
| ・佐藤 欣紀様 | 愛知県 |
| ・大前 美香様 | 広島県 |
| ・末吉 勇介様 | 福岡県 |
| ・小池 弘之様 | 大阪府 |
| ・久米 高生様 | 東京都 |

▶平成29年度寄附金額合計
11,480,000円
(11月30日現在)

■お問い合わせ先

町総務課
☎096-234-1140(内線224)

わくわく！パレア フェスタ 開催

県生涯学習推進センターでは、町地域包括支援センター
☎096・235・8711

②通報場所を正確に伝えてください。
必ず止まってから通報してください。徒歩でも、移動しながらの通話は途切れることがあります。

○お問い合わせ先
御船地区防犯協会連合会
(御船警察署内)
☎096・282・1110

町生涯学習センター・ギャラリーモール展示のお知らせ ～1月～

- 祝成人「書と華展」
▶期間 1月5日(金)～1月17日(水)
- 全国学校給食週間に係る作品展
▶期間 1月19日(金)～2月2日(金)
- お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447



先月の環境美化に関するポスター展示

- ▼講師
・岩崎真由美さん(谷田病院看護部長)
- ・高橋恵子さん(グループホームせせらぎ代表)
- ▼講演内容
・がんなどによって介護が必要となった時の看取りの場所の選択肢
- ・緩和についての準備や心構え
- ・認知症になった時の介護や看取りの場所の選択肢
- ・グループホームでの看取りについて
- ・などを、具体的な実例を基にお話しいただきます。
- ▼参加料
無料
- ▼お申し込み・お問い合わせ先
町地域包括支援センター
☎096・235・8711

「わくわく！パレアフェスタ」01・16を平成30年1月27日(土)に、くまもと県民交流館パレアで開催します。
子どもたちが体験したり、ものづくりをしたりできるイベントです。肥後ちゃんかけごま体験や新聞プール、化石レプリカ作り、教育用コンピュータ「micro:bit」によるプログラミングの基礎体験など、22のブースがあります。
体験活動は当日会場での申込です(一部、材料費が100円程度必要なものもあります)。このイベントに関する詳しい情報は、県生涯学習推進センターホームページをご覧ください。
1日中、楽しんでいただけるイベントです。ご家族で、子ども会などの行事で、ぜひお越しください。

①必ず止まってから通報してください。徒歩でも、移動しながらの通話は途切れることがあります。

○お問い合わせ先
御船地区防犯協会連合会
(御船警察署内)
☎096・282・1110

⑥くらし安全

年末年始における犯罪や交通事故を防止しましょう

110番は、「緊急通報専用電話」です。
110番通報する際は、「何があったのか(事件か、事故か)」、「いつ(今か、何時ごろか)」、「どこで(〇〇町の△△で)」、「犯人の人数、着衣、逃走方向、車」、「被害の状況、被害品」、「あなたの住所、氏名、電話番号」などを落着いて係員にお話ください。

さい。市町村名と目標となる建物や施設を教えてください。
③通話終了後は、しばらく電源を切らないでください。110番センターから、不明な点をお尋ねする場合があります。
緊急事件・事故以外の用件は、管轄の警察署や交番・駐在所、警察相談電話をご利用ください。
▼緊急事件・事故以外のご相談先
○管轄の警察署・駐在所
●御船警察署
☎096・282・1110
●甲佐駐在所
☎096・234・0021
●白旗駐在所
☎096・234・1775
○警察相談電話
☎096・383・9110
☎#9110

①お知らせ

無料登記相談所を開設します

熊本地方法務局では、無料の登記相談所を開設します。
倒壊した建物の登記に関する相談や土地・建物などの売買・贈与・相続などの登記に関する相談について、熊本地方法務局職員が対応します。お気軽にご相談ください。なお、相談には事前の予約が必要です。

- ▼日時
平成30年1月11日(木)
午前10時～午後4時(正午から午後1時までは除きます)
※事前予約が必要です。
- ▼会場
御船町役場
熊本地方法務局
☎096・364・2145

安心・安全な暮らしを守る消費生活相談窓口

町では、平成24年4月から上益城郡の広域連携による消費生活相談窓口を開設しています。

町民の皆さんの安心・安全な暮らしをサポートするため、今後とも継続的に消費者行政の活性化に取り組み、5町の連携を深めるとともに、相談窓口の充実と啓発活動を行っています。

- ▼相談窓口の開催日
毎週木曜日
- ▼会場
町老人いこいの家
- ▼相談受付状況
平成29年度 39件
(平成29年10月末現在)
- ▼お問い合わせ先
町福祉課
☎096・234・1114
(内線144)

償却資産の申告は1月31日(水)までに

法人や個人において、工場・商店・農業などの経営をしている方や、不動産業で駐車場やアパートなどを貸し付けている方が、その事業のために所有する構築物、機械、器具、備品などを償却資産といい、固定資産税が課税されます。平成30年1月1日現在で償却資産を有する方は、1月31日(水)までに資産の種類・取得価格を記載した申告書を町税務課まで提出してください。なお、10万円以上の太陽光発電施設も固定資産税の対象となり、申告が必要となります。

- ▼提出期限
平成30年1月31日(水)
- ▼提出・お問い合わせ先
町税務課
☎096・234・1112
(内線112)

②開催

講演会「看取りについて考える」開催のお知らせ

町では、介護が必要となったときの自分らしい暮らしについて考え、自分らしい生き方や希望する看取りについて家族と話し合うきっかけづくりのために、講演会「看取りについて考える」を開催します。

- ▼開催日時
平成30年1月23日(火)
午後2時～午後4時
- ▼会場
町総合保健福祉センター
- ▼定員
先着100人

第13回甲佐町秋季ビーチボールバレー大会結果

- ▶ミックス(有安フリーの部)
優勝 ミックス(有安)
準優勝 岩下一区
3位 シャンクス
 - ▶スイートフィッシュ(50歳以上の部)
優勝 スウィートフィッシュ
準優勝 横田
3位 乙女+II
 - 50歳以上の部(参加4チーム)
優勝 スウィートフィッシュ
準優勝 横田
3位 乙女+II
- 主催・甲佐町ビーチボールバレー協会(坂本敏博会長) ●開催日・11月10日(金) ●会場・甲佐中学校体育館

■お問い合わせ先

I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局
(町教育委員会社会教育課内)
☎096-234-2447(内線325)

甲佐町総合型地域スポーツクラブ「I・YOU スポーツクラブ」12月のアユスポ・カレンダー



少年柔道
和田叶夢琉くん(下横田区)
柔道がんばってます!
みんなも来てね♪

●スポンジテニス&バドミントン
甲佐小体育館
月曜日 午後7時30分

●少年柔道
甲佐中武道館「甲心館」
月・水・金曜日 午後7時

●卓球
町生涯学習センター・ホール
水・金曜日 午後7時30分

●サッカー教室
甲佐中グラウンド
木曜日 午後7時
甲佐小グラウンド
土曜日 午前9時

●バスケットボール教室
甲佐小体育館
火曜日 午後8時

●ジュニアバスケット教室
甲佐小体育館
水曜日 午後7時

●ノルディックウォーキング教室
白旗小体育館
月曜日 午後7時

●トランポリン教室
特別養護老人ホーム 桜の丘
金曜日 午後5時30分

●お問い合わせ先
I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局
(町教育委員会社会教育課内)
☎096-234-2447(内線325)

ひとの動き (敬称略)

11月11日(土)~12月10日(日)

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
上揚	池上 斗真	男	直樹
安藤	藤本 悠愛	女	賢太
豊内	福島 茜	女	貴弘
麻生原	西村 愛叶	男	太一
豊内	佐藤 羽	男	竜也
世持	志垣 颯飛	男	陽水

marriage ご結婚おめでとう

住所	氏名
夫	白旗 本田 紘一
妻	田口 上田 恭子
夫	阿蘇市 江藤 太亮
妻	仁田子 大村 裕加
夫	熊本市 加藤 啓太
妻	東寒野 田上 美紀
夫	田口 川田 秀二
妻	世持 上田 恵美
夫	御船町 山川 浩太郎
妻	下横田 高山 保奈美
夫	御船町 来海 航平
妻	大町 藤田 奈美

condolence お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
緑町	佐藤 義郎	92	義郎
岩下	甲斐亀代子	89	一裕
中山	西坂 正蔵	93	エイ子
仁田子	荒木 式子	89	式子
早川	宇土 正男	69	正男
船津	仲原 正一	80	正一
仁田子	緒方 克紀	76	佑子
早川	白梅 ハル子	92	ハル子
中横田	井芹 勝子	87	申次
津志田	草野 静子	81	吉次
岩下	中村 アツ子	92	アツ子
横田	増田 文子	95	文子
上早川	増浪 幸介	81	幸介
田口	里形 朋子	38	和洋
府領	塚本 ヒデ子	91	ヒデ子

data 甲佐町の人口・世帯数

項目	数	増減
男	5,116	△4
女	5,719	△10
計	10,835	△14
世帯数	4,286	△10

平成29年11月30日現在

こうさの野菜で作ってみよう!

レシピ提供: 料理研究家 沼田峰子さん(北原区)



ネギたっぷり中華スープ

ご存知ですか?

ネギの生産量世界1位がメキシコ、日本は第2位ってご存知ですか?

ネギは1年中店頭で並んでいますが、最も甘みが増えて美味しくなるのは晩秋からで、今がその時です。生では薬味として、煮たい焼きたいと色々な食べ方がありますね。

ネギは独特な香りを持っています。これは硫化アリルという成分なのですが、血行をよくし乳酸を分解する作用があると言われていています。肩こいや疲労回復に効果があるようです。風邪対策にも効果があります。ネギを食べると元気に過ごしましょう。



作り方

- ①長ネギとロースハムは食べやすい大きさに切りましょう。
- ②春雨が長い場合は、食べやすい長さに切ってもかまいません。
- ③鍋を火にかけゴマ油を入れ、①の長ネギとハムをサッと炒めます。全体に油が回ったら、水を3カップ加えます。
- ④③が煮立ったら中華スープの素を入れます。再び煮立ってきたら、塩・コショウで味を整え春雨を加えます。
- ⑤春雨に火が通りやわらかくなったら出来上がりです。

材料 (4人分)

- 長ネギ 1本
- ロースハム 4枚
- 春雨 40g
- ゴマ油 大さじ1
- 中華スープの素 小さじ2
- 塩・コショウ 適宜

編集後記

お正月の楽しみと言えば、ニューイヤークラッシュと箱根駅伝です。私は毎年テレビにくぎ付けです。甲佐10マイルロードレースでは、同駅伝で活躍する一流競走者たちが、本町を舞台に熱い闘いを繰り広げます。12月3日(日)に行われた今大会では、昨年9月にハーフマラソンの日本記録を更新した設楽悠太競走者(Honda)が、日本歴代4位の好タイムで優勝。同競走者は東洋大学時代に箱根を駆け、五輪などで活躍する1人です。今回初めて写真係となり、広報紙の歴代スタート写真を見ていたところ、第37回大会で青山学院大学時代に出場していた「3代目の神」こと神野大地選手(コニカミノルタ・前回大会優勝)を見つけました。甲佐をわかせたランナーが、世界を舞台に活躍されていくのが楽しみです。



11月5日(日)、白旗仮設・白旗第2仮設団地入居者の皆さんで行われたグラウンドゴルフ大会の様子(白旗グラウンド)

うたごよみ 睦月

「短歌」

渡辺幸士選

猫は何処捜してみれば暖もどめ特等席に寝そべりており 緒方 明美
 小学校の銀杏も楠も同様に隣の紅葉と青空に映ゆ 赤星 文子
 路地裏の猫をあやせば善人と思つたらしく甘え寝そべる 塚原 暁益
 初春を新たに迎う慶びに八十路の春を悠々と往く 白梅 武人
 頂きし新米早々仏壇の前に供えて報告したり 上村やす美
 北国の紅葉写す映像は彩り多彩絵画のごとし 吉永由紀子
 独り居はあれこれ用も多くなり狭庭の花壇草むらとなる 内田乃武子
 黄葉の絨毯蹴つて駆けて行く登校の児等も黄色い帽子 池田キヨ子
 暖かき島より娘らの弾む声受話器に聞きてこころ晴れゆく 渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士選

「思案」

当たるかな思案の末の宝くじ 林 雅之
 紅葉狩り道のり遠く思案する 川田トメ子
 寝転んで思案投げ首福を待つ 日隈 俊郎

「失敗」

順調に進む失敗をバネにして 清川みどり
 失敗を希望に代えて年明け 布田 愛子
 失敗も笑って済ませほつとする 渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美選

やり直し 背丈の急に伸びとった 広田みどり
 やり直し 出来る事ッなら二十才から 下山 千恵
 やり直し 裁判だけじゃ無かつぱい 志垣 光
 やり直し 何んの為飯縫いしたな 佐藤 葵
 やり直し どけちに生れ変りたい 布田かな
 やり直し 上出来て自負しとつたて 平井やよい
 やり直し こらア塩気の強すぎる 長原 産賀
 やり直し やつと一品出来ました 佐野しよう
 やり直し 躰くとこは同じとこ 光永 六
 やり直し 一皮剥けた私見て 井元あざみ
 やり直し 新婚時代思い出し 日高 美里
 やり直し 倦怠時期も乗り越えた 上田 梅清
 やり直し 惚れた腫れたはせせられん 日隈 元良
 やり直し 座右の銘も変えとらず 北川 直美

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
 ☎096・234・2447(内線321)



甲斐 憲俊さん
Kai Noritoshi

(緑町区)

かい のりとし / 95歳、弓道家。主に60歳以上が参加する第30回全国健康福祉祭あきた大会(ねんりんピックあきた)に出場し最高齢者賞受賞。

積年鍛錬した心身で 引き続き生きるがいの弓

自宅に開設した弓道場の澄み切った空気の中、矢を放つ弦音に続き、的を矢が射る音が響き渡る。弓を引くのは甲斐憲俊さん(緑町区)、95歳。昨年9月に秋田県で開催された「ねんりんピック」

に、弓道の県代表として初出場。最高齢者賞を受賞した長寿にあやかるうと、多くの人から記念写真を求められた。「アイドルよりも、たくさん撮られた」と笑みがこぼれる。弓道は中学生のころ少した

しなみ、30歳を過ぎて知り合いに和弓をもらったことから再開。「ずっと弓道をやりたかった」という思いが募り、定年後に退職金で弓を買って弓道場も建設し、本格的に弓道に取り組む。各地の弓道場を回り、甲佐高校での指導にも約20年間あった。現在も郡代表で県民体育祭に出場するなど、第一線で活躍。毎週のように開催される大会に出

掛けるため、スケジュールがぎっしり詰まっている。

弓道では、28歳先にある直径36センチの的を狙う。「弓を引く際に、肩甲骨や背筋が伸びて気持ちいい」と、冬でも暖かい日は10本程度の弓を引く。「矢を放った瞬間がいい。弓道場では、中学生から高齢者までが1列に整然と並び、世代を越えて楽しめる」と、弓道の魅力を話す。真剣な眼差しで弓を引き快音を響かせ、「当たると気持ちいいよ」とにっこり。「しばらく引かないと当たらなくなる」と危惧し、日々鍛錬を積み重ねた。

歩くことが好きで、毎朝1時間ほど散歩する。「雨が続く」と、週2回、町総合保健福祉センター内のフィットネスセンターに通う。洗濯などの家事もこなし、趣味は幅広く、月2回は仲間と謡曲を楽しむことも。「元氣だから、好きなことを続けていられる」と話す甲斐さん。弓道場には、長年にわたる研磨の証として、数々の賞状やトロフィーがずらりと並び輝く。

広報 こうさ

2018年(平成30年) 1月号
通巻582号